

こんな活動です

「夢田んぼ」がつなぐ、鶴巣地域と鶴巣っ子

宮城県大和町

活動名

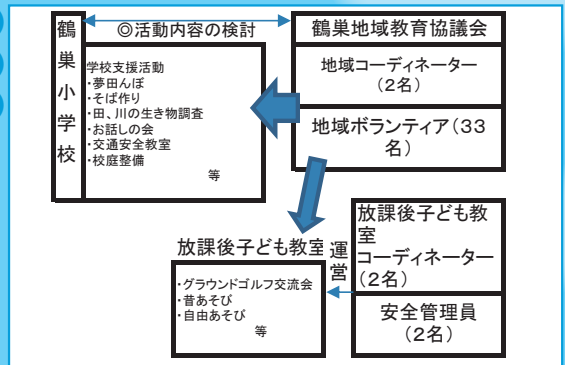
鶴巣地域教育協議会

関係する学校名

鶴巣小学校

基本データ	学校支援活動	統括コーディネーター数 0人	地域コーディネーター数 2人	ボランティア登録数 33人	学習支援 有	開始年度 17年度	国庫補助 有	ICT活用 有	企業・NPOとの連携 有
	地域未来塾	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	放課後子供教室	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
		実施場所		学習支援		放課後児童クラブとの連携			
	土曜日の教育活動	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	コミュニティ・スクール	指定日				委員数	児童生徒数	学級数	

体制図



- 活動の概要**
- 平成 17 年度～コラボスクール事業推進校
 - 平成 19 年度 学校評議員会、外部評価委員による学校評価開始
 - 平成 20 年度 学校支援地域本部事業
みんなの広場「ゆうゆう」（協働推進事業）コラボスクール実施。
 - 平成 21 年度～学校支援地域本部事業鶴巣地域教育協議会みんなの広場を継承して実施。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

○「夢田んぼ」

田の学習は平成 12 年度から始まり、現在は地域住民から継続的に借用している「夢田んぼ」と称した田で、もち米を育成する学習を行っている。5 年生が主体となって田植え、草取り、稲刈り、脱穀までを行っている。田植えと稲刈りの際は、3、4、6 年生も参加し、低学年は見学を行う。

収穫祭では 5 年生が活動の発表を行う。収穫したもち米を使って地域ボランティアとの餅つきも行われる。又、婦人会の協力により、学年ごとに栽培された野菜を使った雑煮が料理され、参加者全員に振舞われる。全校生徒、教職員、保護者、地域住民と一緒に食事をし、会話しながら一年間の活動を振り返る。

【実施に当たっての工夫】

事業の案内や活動予定を年度初めにボランティアに知らせる。その後も、学校便り、保健便り、学級便り、学校ホームページを活用して情報を発信することにより、ボランティアや地域住民が田植えや収穫祭などの情報が得られるようにしている。

協働教育ニュースを年に 2 回、全世帯に配布していることに加え、昨年度からは、大切にしたい「4 つの言葉」の啓蒙に取り組んでいる。返事「はい」。あいさつ「おはようございます」。感謝「ありがとう」。迷惑をかけたらあやまる「ごめんなさい」の 4 つの言葉を大切にしよう呼びかけを行っている。

地域コーディネーターが主になって、ボランティアへの調整や田のメンテナンスを行い、児童が学習しやすい環境を整えている。

● 事業を実施しての効果・成果

児童と保護者が地域を知るきっかけになっている。地域住民にとって身近な農業に取り組むことで、地域ボランティアが自然に支援活動をする事ができている。兼ねてから地域にとって鶴巣小学校は「自分たちの学校」という意識が強くあったが、その思いは更に確かなものとなっている。

児童から協力いただく地域ボランティアへ敬意を表して言葉を交わすことで、お互いに気持ちの良い活動を行う事が出来ている。地域の方々の協力体制が整い、平成 27 年 9 月関東・東北豪雨の際には、吉田川が氾濫し「夢田んぼ」も浸水したが、地域の協力により復興活動が行われ、もち米を収穫することができた。

● その他

【学校支援活動】

企業、NPO 等との連携：JA あさひな、三井化学アグロ㈱、「田んぼの生き物調査」
宮城教育大学「川の生き物調査」

学習支援の詳細：児童に係る学習指導補助、メンタル面のサポート、特別な配慮を要する児童生徒の学習支援。

ICT（情報通信技術）活動内容の詳細：デジタル教科書の活用。

【放課後子ども教室】

企業、NPO 等との連携：㈱明治乳業「パンラッシーをつくろう」



夢田んぼでの稲刈



収穫祭（餅つき）